

平成29年度第1回高知県社会貢献活動支援推進会議 委員ご意見への回答について

	委員	ご意見等	回答・検討結果	現状・課題対応等	所管課
1	清原委員	高知県職員NPO短期派遣研修の再募集について	再募集を行ったが、応募者はいなかった。	今回、庁内でアンケートを採った際に、当該研修について、参加しやすい時期及び研修期間を調査した。その際に、研修期間を1日又は2日を希望する回答が多かった。そのため、来年度以降は、1日又は2日の短期コースと従来通りの3日間コースの2コースでできないか検討していきたい。	県民生活・男女共同参画課
2	梶委員	チャリティーマラソンの事例や運営ノウハウを学べるような情報提供について	県の所管課へ県内のチャリティーマラソンの情報について問い合わせたが、個別具体的には把握できなかったため。	今後NPOセンターと一緒に情報発信できるよう検討して参りたい。	県民生活・男女共同参画課
3	古川委員	東部での中間支援組織設立とあるが、具体的にどこまで進んでおり、今年度はどのような計画をしているか。	東部地域の個別のNPOとつながりを持ち、体制の構築を検討する。	これまでの経過として、2004年に「東部地域NPO活動推進会議」をセンター主導で設置、(メンバー約20名)。2008年「東部ボラ・NPO交流会」発足、発展的任意団体、約15団体。2015年事業継続困難により解散。中間支援組織としての人、拠点が定まらず、現在は、各NPOとのつながりを展開中である。	ボランティア・NPOセンター
4	梶委員	若者の意見が反映されるような計画にしていきたい。	来年度、計画を策定する中で、学生の意見が反映できる機会を作していきたい。	-	県民生活・男女共同参画課
5	梶委員	集落活動センターに対するファンドレイジング講座などの情報提供を行っていただきたい。	2月26日に高知県ボランティア・NPOセンターで開催されるファンドレイジングセミナーの案内を行った。	今後も情報提供をして参りたい。	県民生活・男女共同参画課